



南小国町を大切に思う心を繋げます！

少子高齢化社会の進展と社会環境や生活様式が変化していく中で、人々の価値観も多様化していきます。南小国町社会福祉協議会では、南小国町に住むすべての人たちが安心して暮らせるよう「支え合う」町づくりを目指し、住民の皆様と一緒に地域福祉（支え合い）活動を行っています。このガイドブックは、南小国町でボランティア活動を行っている方々やこれから始めようと考えている方の参考として活用いただけるよう作成いたしました。子育てボランティア活動以外にも皆様の特技や関心のあるボランティア活動に繋がるお手伝いをさせていただきますのでお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

南小国町社会福祉協議会
南小国町ボランティアセンター
TEL：0967-42-1501
MAIL：rindouso@mogbb.jp



南小国町ボランティアセンターの役割

♥ ボランティア活動の紹介、相談、人材育成

ボランティアしたい！始めたい！
情報が知りたい！方は是非ご連絡下さい。

♥ 福祉共育の推進事業

町内小・中学校の児童・生徒、小国高校生（チャレンジ小国GO）への福祉共育（教育）やボランティア活動の充実を図っています。

♥ ボランティア保険の事務

活動中の万が一に備えてボランティア活動保険の受付をしています。補償内容も充実しておりますので、是非ご加入ください。（社会福祉協議会へのボランティア登録が必要となります。）

保険料1人 年額350円



「ボランティア活動」ってなに？

ボランティア活動とは、一人一人の自発的な意思に基づき、金銭的な利益などの見返りを求めず、お互いが支え合い、住みよいまちづくりを目指す社会的な活動です。いろいろな人と出会い、手をつなぎ、誰もが地域の中で一緒に暮らしていくために、自分ができることをすすんで行うことです。できる人が、できる時に、できることを楽しみながらやりましょう。

ボランティアの4原則

自主性・主体性

他から強制されたり、義務としてではなく、自分の意志で行う活動

社会性・連帯性

誰もが生き生きと豊かに暮らしていけるように、お互いに支え合い学び合う活動

無償性・無給性 非営利性

金銭的な報酬を期待して行う活動ではなく、お金では得られない出会いや発見、感動、喜びを得ることができる活動

創造性・開拓性 先駆性

今、何が必要とされているのかを考えながら、より良い社会を自分たちで創る活動

<令和3年度> ボランティア活動保険のご案内

	保険料
基本プラン	350円
天災・地震補償プラン	500円

ご加入いただくには、社会福祉協議会への登録が必要となります。

対象となるボランティア活動

日本国内における「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」で、次のいずれかに該当する活動とします。

- ① グループの会則に則り、立案された活動であること。
- ② 社会福祉協議会に届け出た活動であること。
- ③ 社会福祉協議会に委嘱された活動であること。

		保険金額	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円
		外来の手術	32,500円
	通院保険金日額	4,000円	
賠償責任の補償	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各保険金額に同じ	
	葬祭費用保険金（特定感染症）	300万円（限度額）	
	賠償責任保険金（対人・対物共通）	5億円（限度額）	

子どもデイサービス ボランティア since 2004

南小国町で生活する方々の普段の暮らしの幸せを叶えるために、『子育てがしやすい町に』『子育てを応援したい』と
思いを寄せる地域住民・関係機関と社会福祉協議会が協働して、**小学校の長期休み期間中（春・夏・冬休み）**の子どもたちの安全と成長を地域で支えていく（地域福祉活動）ことを目的に実施している住民と一緒に取り組む支え合い活動です。（制度や法律に基づいた取り組みでは、ありません。）



ボランティアはどんな人が活躍（応援）しているの？

- 子育て応援団ぽっかぽ家（子育てボランティア）
※ 社協へ登録している一般のボランティア
- 南小国町民生委員児童委員
- 南小国中学生ボランティア
- 小国高校生ボランティア
- その他のボランティア

子どもデイサービスではどんなことをするの？

年代の違う人たちと多くふれあうことで、学校や家庭では学ぶことのできないことを体験してもらい、健全に成長していくためのお手伝いをしています。ボランティアさんは、子どもの見守りや一緒に遊んだり趣味や特技などできることを活かした活動をしていただいています。



放課後子ども教室 ボランティア（安全管理員）

市原小学校の放課後（火・木・金曜日）と中原小学校（月・火・木曜日）の放課後に利用申込のあった児童（1～3年生）が安全安心に活動できる居場所を設け、子どもたちに勉強や遊びなどの活動を提供しています。
南小国町教育委員会の実施する事業です。

中原小学校 放課後子ども教室



ボランティアはどんな人が活躍（応援）しているの？

- 安全管理員として教育委員会に登録していただいている活動しています。
- 定年退職した方
 - 子育て中の保護者
 - 子どもと関わることが好きな方等

放課後子ども教室ではどんなことをするの？

ボランティアさんは、子どもの見守りや一緒に遊んだり趣味や特技などを子どもたちへ教えたり無理なく楽しく活動をしています。（※活動は交代制で、必ず教育委員会の職員と一緒に活動します。）

きよらの郷わくわくクラブ ボランティア since 2001

きよらの郷わくわくクラブは、『自分発見』『生きがい発見』『ふるさと発見』をテーマに、子どもたちが年齢の異なる住民との集団活動を通して豊かな人間性・社会性を育む『生きる力』を育てようと発足したクラブ活動です。

どんな活動がおこなわれているの？

文化系・スポーツ系の13クラブが活動しています。ボランティアさんの持っている特技や趣味を活かして子どもたちと一緒に楽しく活動しています。

NO	クラブ名
①	まいぶらりークラブ
②	けん玉クラブ
③	バスケットボールクラブ
④	バトミントクラブ
⑤	学童野球クラブ
⑥	ボクシング&エクササイズクラブ
⑦	バレーボールクラブ
⑧	切り絵・絵手紙教室
⑨	少林武術
⑩	わくわく総合型スポーツクラブ
⑪	りんちゃんクラブ
⑫	FC どんぐりーズ
⑬	中原★FC

切り絵・絵手紙教室



けん玉クラブ



南小国町母子保健推進員

南小国町で安心して妊娠・出産・育児ができるよう、南小国町から委嘱され、母子保健事業に積極的に協力し、町が行う各種サービスを妊婦や赤ちゃんを持つご家庭に紹介するなど、行政とのパイプ役として、また身近な相談者としての役割を担うボランティアです。

どんな活動をしているの？

母子保健推進員さんは、各担当地区での活動と、南小国町の母子保健事業への協力活動を行っています。
主な活動は以下のとおりです。

- 乳幼児健診時の身体計測等
- 研修会への参加
- 民生委員児童委員との赤ちゃんおめでとう訪問等



子育てボランティアにご興味のある方
その他のボランティアにご興味のある方
いつでもお気軽にご連絡ください。